

## 【北海道比布町】

### 1人1台端末の利活用に係る計画

#### 1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

授業改善やICTの活用を通して、対話的で主体的な深い学びを実現し、児童生徒が比布町で学ぶ楽しさを味わえるよう、義務教育学校の利点を最大限に活かしたキャリア教育を展開する。

#### 2. GIGAスクール第1期の総括

本町では、国のGIGAスクール構想に基づき、令和元年度から児童生徒のタブレット端末整備を開始し、GIGAスクールが本格的に始まった。学校現場における教科や学習場面に応じた情報の収集・理解・発信・共有及び個別のツールとして1人1台端末の日常的な利活用を図るとともに、後期課程においては端末の家庭への持ち帰りを可能とし、長期休業中の課題や家庭学習など、様々な場面で活用することで生徒の学習意欲向上及び学習環境の整備に努めた。

GIGAスクールの運営支援を業者へ委託し、ネットワークトラブル等の早期解決など児童生徒の学習環境に支障が出ないように、行政・学校・業者間での連携を図った。さらに、児童生徒の学力向上に向け、民間学習塾と包括連携協定を結び、長期休業中に端末を用いた講習会などを行った。

#### 3. 1人1台端末の利活用方策

GIGAスクール第1期では、1人1台端末の日常的な活用を進めた結果、学習面において必要不可欠なものとなっている。そのような中、令和元年度に整備した端末は、導入後6年が経過することから、授業での活用に支障が出る場面が増えている。児童生徒の学びを止めないためにも、1人1台端末の着実かつ円滑な更新を進め、GIGAスクール第2期においては、次のとおり、1人1台端末の積極的な活用を推進し「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を図る。

##### (1) 個別最適・協働的な学びの充実

学習面においては、調べ学習や自分の考えをまとめ発表・表現する場面、教職員と児童生徒、児童生徒同士がやりとりする場面など、目的や場面に合わせてICTを使い分けて効果的に活用し、課題を発見・解決する力を育成する。また、児童生徒一人ひとりの特性や理解度・進度に合わせた方法で学習を進めるため、

AIドリルの活用及び各自が取り組んだ学習履歴をはじめとする教育データの利活用についても検討を行う。

## **(2) 学びの保障**

国の「誰一人取り残さない学びの保障に向けた不登校対策（COCOLO プラン）」に記載されているとおり、1人1台端末を活用し、心や体調の変化を早期発見する取組みが広がっている。本町においてもこうした動向を踏まえ、GIGAスクール第2期では、日常の授業で端末をより効果的に活用することはもちろんのこと、不登校や特別支援など、個のニーズに応じた支援として、多様な場面でICTの活用を進めていく。